



2014-2015年度 主題

- 国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"
「言葉より行動を」
- アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"
「未来を始めよう、今すぐに」
- 東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」
"With Pride and Pleasure"
- 湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」
- クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦!と奉仕!」

2015年1月号 <IBC/DBC>

今月の聖句

「わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。だから、神の栄光のためにキリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。」

ローマの信徒への手紙 15 : 1-2,7

2015年1月本例会

日時:2015年1月23日(金)

18:30~20:30

場所:かけはし都筑

受付(報告書):田中庸夫

司会:岡田美和

プログラム:

開会点鐘 鈴木 茂会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者

入会式 司式 鈴木 茂会長

立会い 今城次期湘南・沖縄部長

会長挨拶 鈴木 茂会長

*クラブ総会 議長:鈴木 茂会長

総会(会員の3分の2以上の出席により成立)12名以上の出席で成立

各種アピール

スマイル

YMCA報告 生井担当主事

誕生祝い

1月1日 横田洋生さん

1月23日 金城弘子さん(休会中)

閉会点鐘 鈴木 茂会長

・懇親食卓:

「ピッツア サルヴァトーレ クオモ」

<ワイズメンズクラブのブランド再生>



鈴木 茂

日本YMCA同盟は昨年、2014年度-2016年度の中期計画を発表した。そのメインテーマとして、同盟は「YMCA ブランドの再生」(リブランディング)を掲げ、日本のYMCAが総体として取り組むべき課題であると位置づけている。

私は2014年6月21日(土)~22日(日)の2日間、東山荘で開催された同盟協議会において、同盟中期計画策定委員会委員長の中道基夫氏(神戸YMCA理事長・関西学院大学神学部教授)から、YMCAブランド再生の必要性と意義についてお話を伺う機会を得た。また2014年9月には、横浜YMCA理事・常議員研修会に中道先生を講師としてお迎えし、「YMCAリブランディング」と題する発題を伺うことができた。

日本のYMCAはかつて「キャンプのYMCA」、「プールのYMCA」、「ホテル学校のYMCA」といったブランドイメージを有し、当時の青少年に夢を与える存在であった。しかし今のYMCAは、そのような夢を与えるブランドイメージを持っていないのではないかと、中道先生は強い危機感をもって私たちに問いかけておられた。

ここで言うYMCAのブランド再生とは単に図案、ロゴ、マークを新しくすることではなく、YMCAの使命、役割、ミッションなどYMCAの存在価値を時代の変化や社会のニーズに合わせて分かりやすく示し、YMCAに関わる人びとの愛着や帰属意識を高めることであると考えられる。

ところでワイズメンズクラブはYMCAに協力し、協働することを第一の設立目的に挙げている団体である。共に歩む相手方が、ブランド再生を掲げて自己改革を目指している姿を目撃し、こちら側も何らかの自己変革が求められているのではないかと、考えざるを得ない。特に東日本区の現状は、会員数推移を見る限り、中長期的には低迷傾向にあり、1997年東西分割時の1,246人から、2014年7月1日時点では962人と、1000人を割り込む状況に陥っている。

まさにワイズメンズクラブこそ、真剣にブランド再生に基づいた自己の再建に取り組まなければならない筈である。では、ワイズメンズクラブがアイデンティティを主張すべきブランドとは何であろうか。「東日本区定款」を参考にして、ワイズのイ

前月データ	
在籍会員数	17名
例会出席者	多数
メンバー	12名
ゲスト	
ビジター	
メイキャップ	4名
月間出席者	16名
出席率	94%
プルタブ	5.5kg

2月例会予告

2月本例会は、横浜北YMCAとの交流会として、第1部例会では北Yスタッフから「リーダー研修会とYMCAキャンプ」の卓話をいただき、第2部は、横浜北Yのスタッフ・リーダーとの懇親会を持ち、相互理解を深める機会とします。

本例会:2月27日(金)18:30~21:00

例会場:中華料理・敦煌

2月事務例会は、10日(火)18:30から田園都筑教会で行います。お年玉年賀切手シート・使用済み切手・プルタブをご持参ください。

メージとして認識されているのではないかと推定される特質を挙げると、たとえば次のような項目を列挙することができる。「イエス・キリストの愛と奉仕の実践」、「YMCA への支援と協働」、「国際的な友好団体」、「クラブ組織に基づく会員相互の親睦と地域奉仕」、「メネットの活躍」などなど。

このうち、最初の2項目が意味する「キリスト教性」(クリスチャニティ)がワイズ低迷の大きな要因であると主張する意見が存在することは承知している。しかし、ワイズメンのかんりの割合が実はノンクリスチャンであるという現実、ならびにクラブ退会者の4人に3人は、クラブ内の人間関係の躓きに基因しているという現実から判断すると、「キリスト教性」にワイズ低迷の責任を押し付けることには無理があるように思われる。ましてや、上に掲げた5つのブランドイメージのうちの他の3つがワイズ低迷の要因になっているとは、常識的にはとても考えられない。

では、ワイズのブランドに問題はないのか。ワイズのブランドに欠けた点はないのか。実は、ワイズのイメージはブランドとして確立していないこと、定着していないことに最大の問題があると考えられる。「クラブ組織に基づく会員相互の親睦と地域奉仕」というイメージをとっても、それが全体としてはまだまだ地道に実践されておらず、ワイズのブランドとして世の中に浸透していない点に、一番の問題点があるのではなかろうか。逆にワイズのブランドを着実に実践しているクラブは、勢いが良いのである。前記の「キャンプのYMCA」というブランドイメージも、YMCAが長年にわたり青少年のためのキャンプ指導を地道に実践してきた結果として、形成されたものと考えられる。ワイズメンズクラブにとってのブランド再生とは、実はワイズのブランドとして先輩たちが残してくれたワイズの存在意義や使命を地道に実践し、真のブランドとして確立することであると考えられる。

<12月本例会報告>

日時：2014年12月18日(木) 18:30~20:00

会場：湘南とつかYMCA

出席者：今城T、岡崎、岡田K・M、鈴木S、田中、辻Ts、生井、林M・S、山添、横田

12月本例会は横浜YMCAクリスマス会に合流して開催されました。第一部礼拝では横浜カルバリーチャペルの柴田順一牧師による奨励「平和の君・Prince of Peace」のお話がありました。

「人間の歴史は90%以上が戦争でした。お話ですが、クリスマスにグリンジは街中のツリー、プレゼントを奪ってしまいました。しかし人々は歌い、クリスマスを祝ったのです。他人の心の中に生まれる喜び・平和は奪えませんでした。次に南アフリカのマンデラ大統領の話をします。27年間の監獄生活より出られて、仕返しをしたいですか?と記者に質問された時、彼は言いました。したいと思っていたら今も監獄です。人は憎むこと、悪も学びます。しかし人の心の中に「Prince of Peace」が生まれるべきなのです。

続いて「ローリング キャンプ」の話をします。荒く

れ男ばかりの炭鉱で、ある女性が子供を産みました。母親は間もなく死んでしまいました。荒くれ男たちは仕方なく子供を木の箱に入れました。すると、木の箱に寝かせては置けない揺りかごが必要だと、遠くまで揺りかごを求めに行きました。すると今度は毛布だ、服だとなりました。赤子を世話するうちに荒くれ男たちは自分で気づいたのです。こうして一人の赤子、平和の君が荒くれ男たちを穏やかに変えていったのです。」

第二部祝会では各テーブルに分かれました。「会員増強の取り組みについて」の各発表の後で、総まとめをつづきクラブの鈴木Sワイズがしました。各ワイズからも出席し、YMCAの若い人たちと交流が持てました。



ここで突然のハプニング!久保さんから、ワイズ復帰宣言があり、1月の入会が決まり、本当に嬉しいクリスマスプレゼントとなりました。帰りはつづきクラブの懇親会を持ち、帰宅は遅くなりました。

(岡田勝美 記)

<1月事務例会報告>

日時：2015年1月13日(火) 18:30~20:30

会場：田園都筑教会

出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、鈴木S・K、田中、辻Ts・Ta、林S・M、福島、横田

ゲスト：久保勝昭さん

- 1.会長挨拶:「今年は日本にとって戦後70年を迎える節目の年である。ワイズが世界の平和のために少しでも貢献できればと思ってる。」
- 2.報告・連絡事項
 - (1)1/17(土)横Y-Y's 合同新年会(18:30~20:30)
⇒横田氏は欠席、久保氏は出席。
開会挨拶:今城次期部長。
 - (2)1&2月号ブリテン原稿担当を確認
 - (3)1/23(金)本例会 久保勝昭さん入会式
(総会)⇒クラブ役員人事
 - (4)2/10(火)事務例会
⇒TOF 例会とし、おむすび(会長手配)+豚汁。
 - (5)2/11(水・祝)10:00~16:30 横浜YMCA 会員大会
 - (6)2/27(金)18:30~ 本例会(横浜北YMCAとの交流会)、会場:中華料理「敦煌」。会費:ワイズメンバー/4,000円。当日のプログラムは生井館長が作成。
 - (7)「みんなの家」報告⇒(鈴木K)1/15 ポピーの新年会予定。COCOの会の担当をどなたかをお願いしたい。※今

城Hにお願いした。

(8)「アーモンド」報告⇒(林M)週に1~2回の学習支援ボラ。

※鈴木会長⇒「みんなの家」、「アーモンド」は当クラブとして会員になっているので、それぞれ担当者をクラブとして決めて対応したい。

(9)2014-15年度後期会費のお願い⇒未納の方は振り込みをお願いします。

4.協議

(1)2015-2016年度つづきクラブ役員人事について⇒辻次期会長から案の説明があり協議に入った。

①副会長・書記を岡田Kとしたが、岡田K、林S、林Mの3人で協議することにした。

②地域奉仕事業は「CS/Yサ」とし、久保、林M、今城Hを加えて6人体制とする。

③東日本被災地支援に田中を加える。

※人事案は本例会前までに結論を出し、総会にて最終承認を得ることとする。

(2)東日本区への各種献金方針について
⇒席上配布された鈴木会長案とすることで承認。

(3)地域奉仕事業アンケート報告について⇒鈴木会長作成の資料8。②は「特になし」としたが、細田さんの「環境事業」に関する卓話(4月)および区事業主任からのアンケートに対応したことを加える。

(4)今・来月のCS活動⇒基本的には事務例会次第に記載された通り。但し、すぷーんの調理ボラ1/26は辻TSが所要のため鈴木Sと交代。

5.閉会黙祷。

懇親会:「嘉門」(15名参加)

(辻 剛 記)

<IBC Plovdiv クラブからのクリスマスカード>



Dear Friends
from Yokohama Y's men and
Women's Club

Year after year fly away and
another new year is coming...
But the spirit of Christmas
is something that never fades away
Let the miracle of friendship
doesn't fade away either!
We wish you Merry Christmas!
Let your new year be blessed
with joy, harmony and
prosperity!

Tatyana Vancheva - president,
on behalf of Y's men club Plovdiv

<2015年在京ワイズ合同新年会に出席して>

2015年1月10日(土)、桜美林大学 多摩アカデミーホールで開催された在京ワイズ合同新年会に出席してまいりましたので簡単にご報告を致します。つづきクラブからは鈴木茂さんと私が出席しました。

この新年会は文字通り関東東部、あずさ部、東新部に属している在京クラブが合同で開催している新年会です。今年の出席者は約140名。内ビジターは17名で、甲府、熊本むさし、厚木、埼玉、横浜つづき、御殿場、川越、沼津の各クラブからの皆さんでした。東日本区の役員や委員会委員長などを仰せつかっている場合、ビジターとして参加して賀詞交換できて便利なので出席しています。

第1部は礼拝で、「喜びを持って」と題して三谷高康牧師(桜美林大学学長)が奨励。「喜びと楽しみ」は意味が違う、「楽しみ」は欲望が満足させられたときの感情である。一方、今日の聖句「いつも喜んでいなさい」(テサロニケの信徒への手紙5:16~18)とは「愛の行為に生きていなさい」、即ち、「喜んで人に仕える生き方」を意味している。本学の創立者、清水安三牧師はかつて中国・河北地方で若い女子たちが体を売らされていたのを目撃し、799名の子どもたちを保護し、全員無事親の元に帰した。その後、北京市朝陽門外に貧困地域の中国人女子を対象に崇貞平民女子工読学校を設立。最初は無償で「学んで働く」をモットーに女子生徒に刺繍を学ばせ、10年後には地場産業にまで成長させた。この学校は崇貞学園と改名され中国共産党に接収されたが、日本や朝鮮から生徒が入学する名門校になった。

1976年、桜美林高校野球部は夏の甲子園で初出場、初優勝の偉業を成し遂げた。そのとき、清水安三は長谷川如是閑の前で本学を小、中、高、大の一貫校にすると大見得を切った。このときから清水は「ホラ安」というあだ名がついたが、一貫校は実現した。「教育とは愛である」=「人に捧げる愛である」が一貫した彼のモットーであった。

なお、第2部 懇親会で三谷学長は「本学は淵野辺にもキャンパスがあるが、青山学院と隣接している。その青学が正月早々箱根駅伝で総合優勝した。桜美林も昨年から駅伝の予選に出場している。青学は昨年創立140周年を迎えたが、本学は創立100周年を迎える2021年に箱根駅伝に優勝する」と「ホラ学長」よろしく高らかに宣言した。

第2部の懇親会は、ワイズソングで始まり祝辞を廣田光司・東京YMCA総主事、島田茂・日本YMCA同盟総主事、田中博之・東日本区理事、三谷高康・桜美林大学学長、乾杯を渡辺隆・次期東日本区理事の発声の後、会食、懇談に入った。ショータイムはチェリーズ(桜美林学園OG)による素晴らしいハンドベルの演奏に聞き惚れ、厚木クラブの東日本区大会の熱のこもったアピールなどがあり、YMCAの歌、実行委員長伊藤幾夫ワイズ(東京コスモス)の感謝のことば、東京まちだクラブの後藤邦夫会長の閉会挨拶・点鐘でお開きとなった。桜美林大学の三谷学長のお話が印象深かったので大部分のスペースを費やすという報告になってしまいました。悪しからず。(辻 剛 記)

私のCSボランティア活動 (その5)



林 理子

昨年春、10年間子どもたちとの交わりを続けていた信愛塾と別れを告げ、地元都筑区での学習支援を手伝い始めました。数年前に傾聴の講習をしていただいたカウンセラーの水谷先生が北山田で都筑区の委託を受け、都筑区寄り添い型学習支援事業のプログラム「いっしょにあ・る・く」をスタートなさり、お役にたつのかどうかもわからずに何うようになったのです。

課題を抱える小・中学生に対して、安心して過ごすことのできる環境を用意することで、自主性や協調性を育み、学力格差を縮小させるなどにより、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を育むことを目的とした事業です。事情がある子どもたちの勉強を1対1で見ているわけですが、中学生が主です。私の担当は小学生の男子で、学校の45分授業の間じっと机に座ってられない多動の子どもです。最初はどうなることかと思いましたが、数か月で10～20分きざみで、なんとか机に向かって勉強に取り組めるようになってきました。

いろいろな年代の大人と関わりを持たせたいというプログラムの方針を大切に受け止めて、奉仕を続けて行けたらと思っています。

<横浜 YMCA 会員大会プログラム>

日時：2015年2月11日 10:00～16:30

会場：湘南とつかYMCA

横浜 YMCA のサポーターである維持会員に新しくなられた方々への歓迎の意と維持会員相互の親睦・交流・学びの機会として開催されます。ご参加ください。

<横浜北YMCAだより>

新しい年を迎え、皆様本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年末年始の北YMCAでは、冬休み期間に行われた短期講習会、ウインターキャンプが実施され、多くの方にご参加いただきました。今回も子ども達にとって「チャレンジできる冬」として各プログラムが準備され、北YMCAだけでも約600名の子ども達が元気に参加してくれました。シーズンキャンプでは、豊富な雪に助けられ、上手にスキーを楽しむことができました。「できた!」という喜びの中から大きな自身や成長につながっていくことを期待したいと思います。また生活面では、インフルエンザの流行により、キャンプ中体調を崩す子ども達も多く、健康面での対応が多く求められたキャンプでもありました。



そんな中この冬もYMCAでは子ども達のプログラムを中心に「風の子キャンペーン」実施しています。寒さに負けない!丈夫な身体づくりのため!としてこのキャンペーンは実施されています。寒さが厳しくなる1月末までこのキャンペーンは続きます。

皆様も適度な運動と栄養、そしてしっかりと水分補給を行い、寒さに負けないようこの冬をのりきっていきましょう!

《1月、2月行事予定》

1月より維持会員増強 第3次キャンペーンがスタート

2月11日 YMCA会員大会

横浜北YMCA 館長 生井知三

<第18回東日本区大会>

日程：2015年6月6日(土)～7日(日)

会場：厚木市文化会館・レンブラントホテル厚木

・大会テーマ：「ここから未来へ」

登録費：メンバー、メネット：16,000円

登録受付期間：2月16日(月)～4月15日(水)

<第26回アジア地域大会>

日程：2015年7月31日(金)～8月2日(日)

会場：ウェスティン都ホテル京都

・大会テーマ：「Start Future Now

未来を始めよう 今すぐに!」

登録費：2015年3月31日まで35,000円

4月1日～6月30日は39,000円

登録受付期間：～2015年6月30日(火)まで

ぜひ、両方の大会に参加しましょう。

会費納入口座

後期会費の納入を、お願いいたします。

横浜銀行 菊名支店 (普通) 1330228

2月は区費・各種献金の締め切り月です。

大会当日スケジュール		入場無料			
場所 開始時間	1階ホール 10:00～	1階ロビー 10:00～	2階 10:00～	5階 13:00～	1階駐車場 12:00～
10:00	★オープニング セレモニー 開会礼拝 ゴスペル	★各支援物品 販売コーナー 岩手物産品・ 国際・地域協力 支援物品を販売	★展 示 コーナー YMCAの様々な取 り組みを紹介し ます。	★発 表 コーナー YMCAの働きを深 く知ることがで きます。	★フード コーナー 各YMCA/CF で入場フ ードを提 供し ます。
10:40	★基調講演★ 『後援ピアノコ ンサート&ビー スメッセージ』 矢川光則さん	<出店予定> ●東日本震災復 興支援 ●岩手物産品 ●タイ バヤオク ラフト販売 ●アンジュの パン販売 (横浜YMCAワークサ ポートセンター)	<出展予定> ●ワイズメンズ クラブ ●横浜YMCA 賛助会 ●鎌倉市いすゞ 共に歩む会 ●横浜YMCA 対人地雷を なくす会 ●横浜YMCA 横浜市中区地域 子育て支援拠点 のんびりんこ ●保業、業協同 健康教育、親子 専門学校、アフ タースクール、 オルタナティブ の各事業 ●富士山YMCA ●横浜YMCA ●子ども支援基金 ●横浜中央・北東 地域ケアプラザ	<出展予定> ●ワイズメンズ クラブ ●国際・地域 協力事業 ●タイ支援 ●ミャンマー支援 ●横浜YMCA 賛助会 ●全国リーダー 研修会報告 ●健康教育 協同教育 専門学校 保育 高齢者、 オムタナティブ 779-10-1 の各事業	<出店予定> ●焼きそば ●豚汁 ●カレー
11:45	★夢すくすく賞 受賞団体報告会	●130年の歴史 写真パネル展 ●メッセージ ツリー ●コーヒー販売 ●おもち販売			
12:15	★昼食会場				
12:45	★キャンソング を歌おう!!				
13:00	★運動による認知症 予防体操				
14:00	★ハンドベル				
14:30	★ゴスペル ★YMCA 賛声 合唱団				
16:00	★クロージング セレモニー				